

タウン・ミーティング

下総・大栄の両地区で5月30日に開催された、タウン・ミーティングの主な内容についてお知らせします。

地域格差の是正

市民(下総) 住民検診など、成田地区が中心に行われ、下総や大栄の住民は不便に感じることがあります。合併によって行政サービスが低下しないようお願いします。

市長 合併により行政サービスが

低下しないことを基本方針としていますが、住民サービスをどこまできめ細かくできるか考えていきたいと思っています。

市民(下総) 合併後、市長をはじめ市議会議員はどれだけ下総や大栄地区をご覧になっていますか。

市長 「現場政治」を自分の政治



空港問題や福祉などさまざまな提案が(下総地区)

信条、モットーに、下総・大栄地区へもよく来ていますし、いろいろ拝見しています。

市民(下総) 下総には歴史民俗資料館があります。今までは、いろいろ企画展を催し、旧下総町の文化の拠点となっていました。成田市になって、催し物は一切なくなると聞きました。施設の有効活用をお願いします



新生成田の課題を語る
小林市長

す。

市長 合併に当たって、歴史民俗資料館を含む各施設の利用方法については、いろいろな角度から議論をしております。その中で早急に取り組まなければならないもの、長期的に取り組むべきものがあります。いろいろと意見をいただき、皆さんとも相談しながら工夫していきますので、ご理解ください。

市民(大栄) 旧大栄町では区長が広報紙を配布していました。合併して新聞折り込みになり、地区と行政のパイプが細くなるのではなにかと心配しています。

市長 新聞折り込みにすることで、区長の負担が軽減されています。一方で、地区と行政の対話がなくなるといふ心配もあるかと思えます。従来以上に、さまざまな機会で見聞を吸収できるように体制を整えていきたいと思えます。

市民(大栄) 成田市は昭和の合併後、周辺部にも目を向けてきた

と思います。ぜひ、大栄地区にも目を向けていただきたいと思えます。

市長 市議会や地域からも、部分的な発展とならないようにと意見が出ています。市民の皆さんに合併してよかったと思われる行政運営を考えていきます。

産業廃棄物・ 残土の埋め立て工

市民(下総) 下総地区は飲料水を地下水に頼っているところが多いです。その地下水の汚染原因の一つとなりうる産業廃棄物や残土が持ち込まれることを心配しています。条例を制定し、厳しく取り締まってもらいたいです。

市長 成田地区も地下水に頼るところがたくさんあります。汚染度のチェックは、常日頃から心掛けていかなければなりません。産業廃棄物については、旧成田市においても従来より監視員、また、市役所に現役警察官を置いて監視をしてきましたが、今後、尚一層の強化を図りたいと考えています。

騒音・滑走路北側延伸問題

市民(下総) 去年10月3日に予測騒音コンタマーが示され、ことしの

2月22日に住民説明会が行われました。その後3〜4カ月間、何も説明がありません。地区として要望も出しましたが、未だに納得いく回答もいただいております。よく住民の声を聞いていただきたいと思います。

市長 国の法律に当てはめてすべて解決できれば良いのですが、そこが非常に難しいところです。足りない部分について、市でどこまで補えるのか、皆さんのご意見を十分に伺いながら調整を図っていきますので、ご理解いただきたいと思います。

防犯・防災工

市民(下総) 成田は高層ビルが多くなりました。耐震強度はどういう対策をとっていますか。

市長 市内にはホテルも含めて高層ビルが多くあります。耐震問題が出てから県と市が協力し合っている問題がないか精査しています。また、大型のはしご車を導入し、高層建築への消防力強化に力を入れて取り組んでいます。

市民(大栄) 大栄地区でも、市民パトロールなど防犯活動が行われていますが、保育園や小学校に、警備員の配備や警察との連携といった安全対策をお願いしたいと

思います。

市長 市は、市民生活の安全を早くから意識して、おとしから生活安全部を組織し、防犯活動や交通、防災に力を入れています。特に、小中学校の防犯活動に、地域ぐるみで体制を強化しています。

市民(大栄) 大栄ニュータウンは中層住宅が多く、防災無線が聞こえないことがあります。ですが、市からの回覧で、登録すれば携帯電話に防災情報が配信されるということを知って安心しました。

市長 大雨、大風の音に遮られて防災無線が機能するかという心配もあります。そこで、携帯電話に防災情報を配信する事業を昨年7

月からスタートしています。

市民(大栄) 少子高齢化に伴って、消防団に参加する人が減っています。消防団を存続させるためにもOBの方や、地区の皆さんの支援が得られるよう知恵を貸していただきたいと思っています。

市長 時代背景もあり、団員が減っているのは事実です。それを補う意味でも新成田市として消防の充実を図っていきます。

コミュニケーションバス

市民(大栄) 大栄地区は、下総高校の生徒も多く、大栄地区の循環バスが滑河駅まで運行すれば、バス利用者も増加すると思います。

市長 コミュニティバスは、きめ細かい運行が望ましいですが、効率性の課題もあります。全体の目標設定と、効率性、地域の要望をすり合わせていきたいと考えています。

農業振興について

市民(大栄) 学校給食センター大栄分所に地元の農産物を供給する事業の事務局をしています。地域の人たちが子どもの食を支えているということを生産者も子どもたちも感じることでできればと願って事業を実施しています。

市長 地産地消の考え方は、とても良いと思います。生産者と消費者が互いに見えることは食の安全にもつながります。この仕組みを拡大できればと思っています。

行政運営について

市民(大栄) 市役所も意識やアンテナを高くして、情報収集と発信をしていただきたいと思います。また、これからは市民も市政に協力していくことが必要だと思います。

市長 昔は、市民は行政サービスを待つという感じが強かったと思いますが、最近は、市民意識も上がっています。市民が積極的に参

加し、市民と行政が同じ目線で取り組めるよう、このタウン・ミーティングも開催しています。

市民(大栄) 成田空港のほかに誘致できるものがあれば新たな財源となると思います。

市長 大栄地区には、従来から工業団地があります。圏央道インターチェンジ設置予定もあり、企業誘致のPR機会であると思っています。

福祉・医療について

市民(下総) 下総地区社会福祉協議会の補助金が、成田市になってからは減ってしまい、何もできない状態です。社会福祉協議会へ行政の力を貸していただきたいと思っています。

市長 今後、高齢化が進みます。高年齢者の方々への支援が大切になっていきます。現在、市では75歳以上の方に敬老祝い金を差し上げており、全体でかなりの額となっています。しかし、そういったものをやめて、協議会への補助金を増やした方が良いのではという意見もあります。これまでも議論を行ってきま

ましたが、さらに慎重に議論

しなければならぬと考えています。

市民(大栄) 高齢者は、将来の医療に対する不安がいっぱいです。行政から医療機関へ医療の充実を要望していただきたいと思っています。

市長 市では、日赤病院と連絡会を設けて、患者の皆さんからの意見を事細かく協議しています。医師や看護師はフル回転で働いていると思いますが、患者にしわ寄せが行ってしまうことはよくありません。繰り返し医療機関に申し出ていきます。

タウン・ミーティングの会議録は市役所1階行政資料室で閲覧できます。

次回のタウン・ミーティングは、次のとおり開催します。

タウン・ミーティングは、広聴活動の一つとして日ごろ皆さんが市政に対して感じていることや望んでいることなど、より多くの生の声を市長が直接お聴きし、話し合いをする場です。

参加を希望する人は直接会場へお越しください。

- 日時=8月25日(金) 午前10時~正午
 - 会場=市役所1階市民ロビー
 - テーマ=①空港問題のその後
②新成田市の課題
- ※くわしくは市民支援課市民相談室(☎20-1507)へ。



市の将来や農業問題などについて活発な意見交換が(大栄地区)